

令和3年度第2回富山県総合教育会議 議事録

1 日時 令和4年3月28日(月) 13:30～14:03

2 場所 富山県庁4階大会議室

3 出席者 富山県知事 新田 八朗

富山県教育委員会

教育長 荻布 佳子

委員 山崎 弘一

委員 町野 利道

委員 村上 美也子

委員 大西 ゆかり

委員 黒田 卓

4 事務局出席者 経営管理部長 岡本 達也

経営管理部次長 武隈 俊彦

理事・教育次長 清原 明宏

教育次長 坪池 宏

参事・教育企画課長 松井 邦弘

教育参事・県立学校課長 佐野 友昭

学術振興課長 掃本 之博

他関係課職員数名

5 議事

- ・第3期富山県教育振興基本計画(案)について
- ・富山県特別支援教育将来構想(案)について

6 会議の要旨

司会が開会を宣し、新田知事の挨拶後、富山県総合教育会議運営要領第3条の規定により、以後の議事については知事が進行した。

(新田知事)

- ・第3期富山県教育振興基本計画(案)及び富山県特別支援教育将来構想(案)について、事務局から説明していただきたい。

松井参事・教育企画課長が資料1～資料4に基づいて、「第3期富山県教育振興基本計画(案)」にかかる事項を説明した。

続いて、佐野教育参事・県立学校課長が資料5～資料8に基づいて、「富山県特別支援教育将来構想(案)」にかかる事項を説明した。

(新田知事)

- ・事務局から説明があったが、委員の皆様から御意見を伺いたい。

(村上委員)

- ・パブリックコメントや県の成長戦略が盛り込まれ、とても充実した教育振興基本計画、及び特別支援教育将来構想案になっている。
- ・パブリックコメントの中にも多く出てきている「誰一人取り残さない」ということについて、発達障害の子どもたちが増えているし、いじめや悩み、不安のある子どもたちへの対応というのも非常に大事。スクールカウンセラーの拡充ということが書かれてはいるが、さらなる増員が必要になるかもしれない。関係機関の相談機能もさらに充実することが必要かと思う。
- ・特別支援教育将来構想の方では、医療的ケアの実施体制を充実することと、災害時の個々の対応プランなどの策定に努めていただきたい。

(大西委員)

- ・私もこの教育振興基本計画及び特別支援教育将来構想案については、教育委員会での委員意見やパブリックコメントの意見を取り入れ、非常に素晴らしいものになっていると思う。
- ・教育振興基本計画を受けての来年度の取組み事業について、急速に展開しているICTを活用した教育の推進、これまでも重要な課題として取り組んできた教員の働き方改革の推進、そして国に先行する少人数教育の推進、これらについて、他よりも大きな予算反映が行われているということが見て取れ

る。10個ある重要テーマの中においても、この3点については特に質の高い教育土壌を作るための部分であると思うので、今後に期待している。

- ・特別支援教育将来構想案についてだが、障害のある子どもを持つ保護者は、子どもたちがそれぞれに応じた教育を受けて、そして就労し、自立に向かう道筋が見えることを切望している。来年度、早速の新規・拡充事業があるが、障害、医療、福祉など、他の制度とも連携を強く持って、押し進めてもらいたい。

(山崎委員)

- ・第三期となるこの教育振興基本計画について、前回の会議においてもしっかりした計画になったのではないかと述べたが、特に計画の具体的な内容については、この2月に策定された富山県成長戦略の内容も盛り込まれ、さらに充実した、良い計画になっているのではと思う。
- ・先ほど、来年度事業について示されたが、今後教育振興基本計画に基づく各種事業が着実に実施されるよう、しっかり取り組んでももらいたい。

(教育長)

- ・この第三期の教育振興基本計画、そして特別支援教育将来構想については、これまで何度にもわたって教育委員の皆様から多くの意見をいただき、また検討委員会の委員の方や多くの県民の皆さんから幅広い貴重なご意見をいただき、今後の教育の一層の充実のための大きな方針を示していただいたことに心からお礼申し上げたい。
- ・基本計画や将来構想の中に、目指す姿として、成長戦略にもうたわれているウェルビーイングの実現や、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現、これが盛り込まれているということにも大きな重みがあると感じている。
- ・教育分野にはたくさんの課題があるが、この目指す姿をしっかりと基本にして、またこの理念を教育に関わる皆さんに共有するということにも心をかけながら、この計画、将来構想に従い、着実に施策を進めて参りたい。引き続き教育委員の皆様には、ご支援をお願いしたい。また、知事部局とも十分連携して進めていきたい。

(新田知事)

- ・ありがとうございます。

教育大綱を皆さんで練り上げていただき、それに基づいてこの教育振興基本計画ができた。併せて、私の政治家としての公約でもあるが、特別支援教育の将来構想のこと、これについても、順を追って積み上げてきて、今日お示したような案を示した。本当にここまで皆さんご協力いただきありがとうございます。特に成長戦略、これは県のこれからの方向を示そうということで、これも私の政治家としての公約に従い、有識者会議の協力も得て、また県議会ともキャッチボールし、県民の皆さんのご意見を広く伺って、成長戦略の成案を終えたもので、これを教育の中にも盛り込むということでかなりこの中に反映している。

- ・ウェルビーイングの高い富山の実現には、やはり誰一人取り残さないというまさにSDGsの精神であるが、この本県の教育の基本に取り入れていくことも意味があることだと思う。
- ・また教育委員会では、新年度に発達障害のある子どもたちの理解や適切な支援のためのオンデマンド研修コンテンツ、これを作成、活用して、教員の対応力向上を図ると聞いているが、今後も支援体制の充実に取り組んでもらいたい。ITは社会一般産業界でも大いに活用しているが、私はこの可能性は特に特別支援が必要な子どもたちに大きな効果がある、力を発揮するものだと思っている。特別支援学校の現場を見た際、障害を持っている子どもが将来デザイナーになりたいと言って、夢を語ってくれた。ITの力がなければ、現実的には難しいことだと思ったが、しっかりパソコンを操って一所懸命に取り組んでいる姿を見て、やっぱりITにはこういった力があると思った。
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーについては、しっかりと配置をして欲しい。少子化の中だが、医療的ケアを受ける子どもたち、本当に課題のある子どもたちが、逆に増えている。その中の一つが医療的ケアを受ける子どもたちだが、安全な学校生活を送り、ICTの活用などによって、可能性を広げていく、これが大切である。
- ・それから、村上委員が副会長を務めておられるが、富山県医師会・小児科医

会で作成された「医療的ケアが必要な子どもたちのための災害時対応マニュアル」の活用や関係部局との連携を進め、体制の整備を進めてもらいたい。

- ・また、成長戦略の中では、プロジェクト学習やSTEAM教育についても大いに議論した。これはもちろんこの教育の中でも議論してきたところであり、計画に盛り込まれている。来年度の当初予算（資料8）で、この計画の内容や、特別支援教育将来構想を踏まえ、VRやロボット等の最先端機器を活用した学習の充実やオンラインを活用した学校現場での技能の向上などの予算を確保したところである。今後も、一人一人に応じた適切な指導や支援を受けることにより、全ての子どもたちが夢を持ち、その夢に近づいて行けるよう、様々な面から最大限支援してまいりたい。
- ・先般、経団連から、今後の教育について求めること、もっと期待することという提言があった。文理融合、データサイエンス教育、課題解決型の学習、キャリア教育の充実またグローバルな視点、そしてアントレプレナーシップ、リカレント教育の7項目について、現在、経済の世界では、子どもたちの教育にこんなことを求めるということを経団連の会長が言っておられたが、今回のこの本県の振興計画についても、これらのポイントがしっかり反映されているものと考えている。教育をして社会のために役にたってもらおう、そういう意味では現場の経済界の意見もしっかりと聞きながら、こういったことを進めていくということは、今後も大切だというふうに思う。この辺りはまた教育委員会ともキャッチボールをしながらやっていきたい。

- ・その他、よろしいか。

それでは、先ほど申し上げたように、パブリックコメントを反映した形で、第3期富山県教育振興基本計画及び富山県特別支援教育将来構想をお示ししたが、この案で決定してよろしいか。

(各委員)

- ・異議なし。

(知事)

- ・ありがとうございます。

教育委員の皆様方には、ご専門の知識や経験に基づいて、貴重なご意見、ご提言をいただきましてありがとうございました。

今後も、本県の教育行政についてご協力をいただきますよう、よろしく願いをいたします。

では他に特にないようでしたら、終了とする。ありがとうございました。